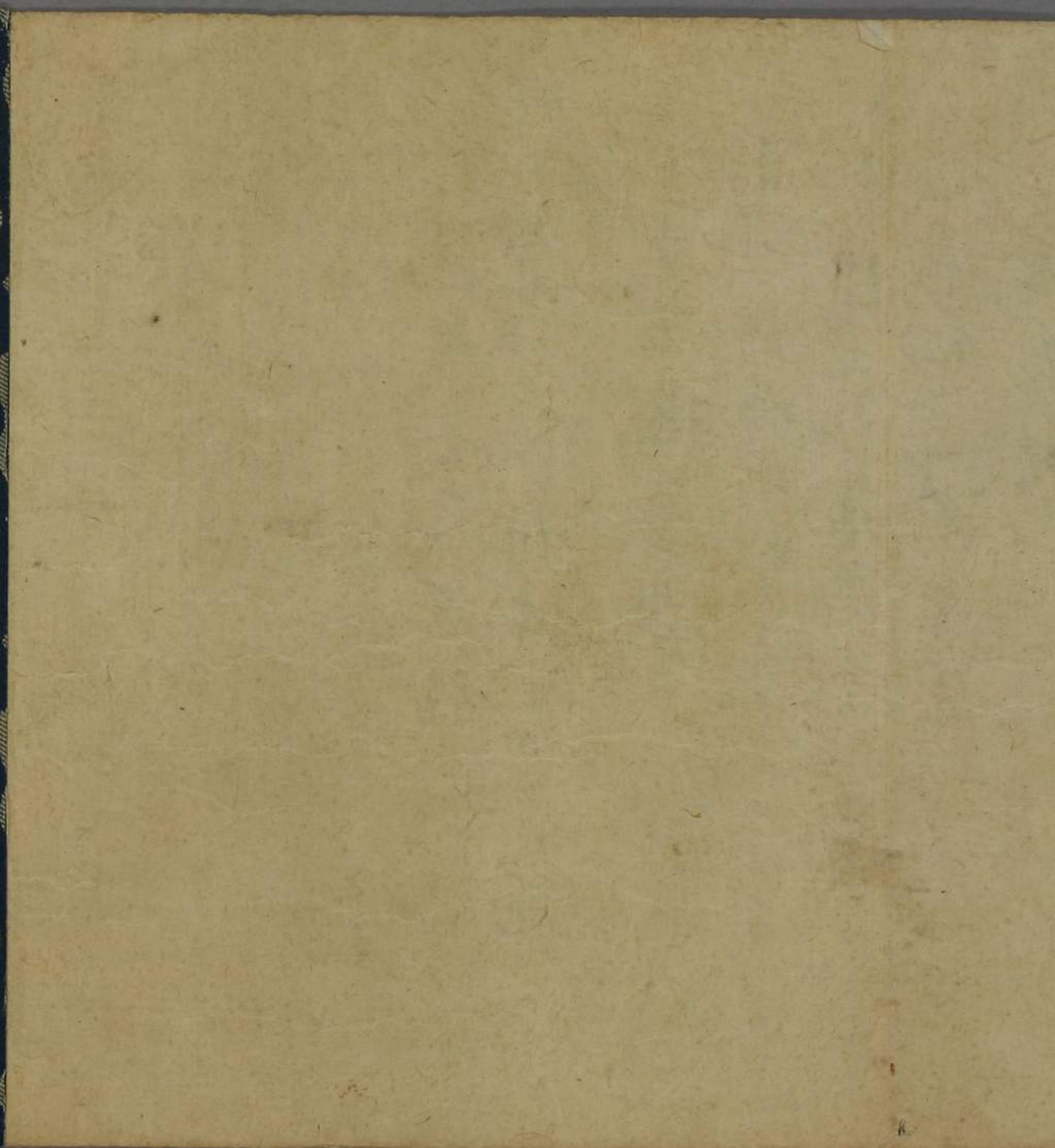


特 別
^ 4
8091



廣丑二月十日辭東沙寺

橫擔柳檣出江城

身是從來一客生

東沙雲昏暮雨裏

抱泥帶水走飯程

神在石川、旅店逢看之居士

三辰

二月晚梅花滿架

聊酬施信一爐薰

於流意氣旅檐下

迫看松竹遠看雲

到之潭後拜

圓通大應闍師一塔

三辰林中踞塔前

圓師威烈太凜然

酬恩一瓣奉高閣

UNIVERSITY OF TORONTO LIBRARY

廣旦二月十日辭東海寺

橫擔柳樺出江城

身是從來一寔生

東海雲昏暮雨裏

抱泥帶水走破程

神在百川，旅店逢看之居士

三辰

二月晚梅花滿架

聊酬旆信一爐薰

於流意氣旅檐下

迎看松号遠看雲

到三潭後拜

圓通大應國師之塔

三辰松中踞塔前

國師威烈太凜然

剛恩一瓣奉高閣

南浦花香二月天

佛涅槃日登靈柩山

般涅槃衣且脚跟

崎岨岩路上初根

衆山八百人口繞

之掩士峰丈六台

穿津山

過一山事又一山

今朝徑歷穿津山

客身少息楊花下

程足飯心暮海山

圓部年時

六張大，如衣了，一，去，走，多

此五力，如，人，民，二，方，也，里，人

之掩士峰一丈六之与

宇津山

過一山事又一山

今朝徑歷宇津山

客身少息楊花下

於是飯心暮海山

岡部年時

六孫太ハお衣ア〜とちりせり

と五りた〜人試ニありむ里人

有枝

蒼顔白髪去生流

東從西遠川尻砂

忽到新村杖起花

作隨身杖指花枝

也と

下り江の白髪小袖と衣ひ〜江

〜き〜及れ〜也との〜り〜

鳴田

鳴るに或百姓の田は〜

〜る〜り〜井向〜

金吾

上巳住居色報時

一心口入異邦未

罰金君を忍を計

金吾園中昔不待

中山

踏履多艱安之間

攀攀節壹作夜中山

斯生不似西行詠

况安往乎况交遠

蜀川

花備白之千戸重

新坂の舟のり荒井此湊
舟は

日るりうー人ひ舞く兼故之
舟の浪川はるね舟路也

白洲賀之政后移池於山下

比屋移居容易地

中津信山下流也連

白鷺毛過白洲賀之

未又眺望連這邊

恒光板

足方とひ舟かくれと故又恒光板

未又眺望連這邊

三川

名古すもかあは故つとく路ある

そこのかたし之河・藤の産

吉田

知り知西水植口損ありな

より吉田此名にこそる里

水境

遠に三河のさうい

津の玉の釈吉知此也一とく
とリヤきふおとさうの宿

新家手板町

わたりしとほくさうへ身の家板
丁地

まろ了ふの花板町

府

今うーと板心の兵久一し

いそあまふんそあわいあまふん

御油

あう藤舟をひまねんか也れあり

こゆりうしとまくと何の所中

わたりしとほくきくへ身の家指
まろ了介の花標所

村

今うらと存し心の兵久し
いそあまふくあわいあふ山むら

御油

あふ旅舟をひまねんかむれきり
こゆらうしとまくと何の所中

赤坂

元帝登岸所之山

赤坂村間赤日近

留我家人回知也

往遠坂宿中海平

寶如寺

佛法傳三の宝にあふれや
こほの玉み名何の古寺

山

名中一の山一宿とまきこえて也

家長伝ふれ路の信

赤川

えあやふれむ記之のさむき
信を何らうり赤川の人

岡崎

岡崎勝境冠南世

偶結生縁あ解

三才杖壘敵掌握

百千権む太平川

やとま

左うき橋うのまきにゆりあう

やとまの宿の名ああうらう

河邊勝徳冠首世
偶結生縁多照
二十杖壘似掌推
巨千楯む太平川

やんき

左うき橋うのそくはりあり、
やんきの宿の名もあつたう

たふ古屋と文進ふ

まのこらあなはれりともりし
いりぬらうとく進ふの甲

荊谷 せとまきんはま用し

旅あれこりやんきふかりやんき
能のあまきとふかきとまき

河内

破障ふきしきりてとをねに
りうきとるれとくはら

芋川 是と三別

茶々のうらあぢくさうにははま
三河もまの芋河のさし

あつそりてを別

橋のうらうらあのおらうり尾強と

よこらうにはとあり甲也

少部

ふしきとひよかあり

たのうらとりのゆめをゆえ

あり

やまこつこつとこつとこつと

よりあまへり 旅のへく

河内

一生はうらうらとこつとこつと
けりあへりへあつとあり

河内

傾頭己か寺 寺内額相備

多くうりたてて安んずるや

泰山

これとて我運長又その如し
名も遠く泰山の城

也

因果のくくつものちまていん
ついでに あつちの地

冷麻

ゆきかつりつりつりつり
これとてかの後まきり
いこのま

あつちのつりつりつりつり
まきりつりつりつりつり

出山

うしつりつりつりつりつり
庭つりつりつりつりつり

石部

まきりつりつりつりつり
石部つりつりつりつり

海西と海東 土屋轍相同

竊比我其氏 偶然入石中

勢田橋上

湖向を波水拍浪 和盤泛濯旅亭摩
杖端移步近松竹 橋上回頭遠草津

関寺母造

達仕路信関と共 所授老御指此方
境因人歎人其境 無後儼然一字堂

飯沼寺

露宿宿風猿往又遠 千村戸落蒲車園
飛居此屋豪家 似山中明宅閑

多吉人... 已... 右部

海西与海东 土里轍相同 竊比我... 偶然入石中

勢田橋上

湖向在波水拍浪 和盤泛濯旅亭摩 杖端移步近松林 橋上回頭遠草津

閨寺再遊

達... 境因人歎人其境 無後儼然一宇堂


飯沼寺

露宿宿風猿往又遠 千村百落隔車園 飛居此屋高... 似山中四宅閑

又

千里往還... 安知斯夕... 不似長安...


慶安己丑三月

江雪叟... 



江雪和為

慶丑三月十日 辨 東海寺
 横擔柳標出川城
 六孫太八 替



極

江雪和為道之記卷物

十六枚連一巻

丙午秋

